

| 順位 | 氏名（議席）    | 発言の要旨  | 答弁者              |
|----|-----------|--|------------------|
| 14 | 鈴木 幸司（12） | <p>1. ふじペイを継続し、SDGs 未来都市にふさわしい経済対策を</p> <p>10月から開催されてきた「富士SDGs ラボ」の最終発表が本年1月17日に行われた。そこでチーム「fujicari」が、小長井市長をはじめとした審査員による審査と、会場投票による合計点で見事最高得点を獲得し、最優秀賞に輝いた。「想いが循環するまち、富士市へ！」とうたわれたfujicariの当時のプレゼン資料には、以下のように書かれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切に使えるほどお得になる仕組みをつくる。</li> <li>・中学時代の制服や教材を「ふじペイ」でポイントにして高校生活を華々しくスタートさせる。</li> <li>・憧れの先輩からのプレゼントが新しい力になる。</li> <li>・いつか子どもが入学したときに、自分が使った記録がつながる。</li> </ul> <p>若者たちからのこの提案は、限りある資源を循環させ、より豊かな社会を創ろうというアイデアだと思う。しかし、残念ながら実験的に導入されたふじペイそのものが本年2月14日で終了し、現在どのような経済効果があったのか分析中であると聞く。</p> <p>マーケティングの一般則として、売上げの8割は、全体の2割の顧客で占められるという「パレートの法則」がある。売上げの拡大には、この2割の顧客をどう捉えるかが鍵となる。</p> <p>コロナ禍で打撃を受けた地元商店組合からの陳情に対し、2月18日の環境経済委員会において、当局は「今後は経済支援に資する対策を行っていく」旨回答しているが、SDGs 未来都市富士市にふさわしい経済支援を望みつつ、以下質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ふじペイの経済効果をどのように分析しているのか。</li> <li>(2) 売上げの落ちた商店街に対しては、どのような経済支援を行っていくのか。</li> <li>(3) 富士SDGs ラボで最優秀賞を取った「fujicari」を導入してはどうか。</li> </ol> <p>2. 本市場大淵線（伝法工区）の開通延期について</p> <p>本市場大淵線（伝法工区）のうち、大月線から弥生線までの区間において工事が完成し、本年度中に暫定供用が開始される予定とされていたが、静岡県富士土木事務所は、先の住民説明会で、開通の延期、通学路への横断歩道の設置を告げた。工事完成が遅れる理由として、信号機のない横断歩道に対し、日本で4例目となる横断者感知式注意喚起システムを導入するためであると説明がされた。</p> <p>このシステムのプレスリリースによると、横断歩道の歩行者を人感センサーで検知し、路面の道路びょうとLED表示板により、ドライバーへ注意喚起を行うとある。このシステムのポイントとして、常時あらゆる方向に対してむやみに警</p> | 市長<br>及び<br>担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席）    | 発言の要旨   | 答弁者              |
|----|-----------|---|------------------|
| 14 | 鈴木 幸司（12） | <p>告しているものではなく、歩行者が横断しようとしているときのみ、そのことを検出し、また必要な方向のみ点滅させ、ドライバーへ注意喚起を行うとも書かれている。</p> <p>県道181号線や富士インター線の渋滞緩和のために早期の開通を望む声もある一方で、こうした安全対策が施されるまで、開通延期はやむを得ないものとする。</p> <p>以下、当局の見解を伺う。</p> <p>(1) 供用開始延期による市内の南北方向の交通への影響は。</p> <p>(2) 横断者感知式注意喚起システムを、信号機のない横断歩道に設置することを道路管理者としてどう捉えるか。</p> <p>(3) 今後この横断者感知式注意喚起システムを市内に導入していく考えはあるか。</p> | 市長<br>及び<br>担当部長 |